

## 2020年度 松花堂庭園・美術館主催事業計画

### <公益目的事業>

#### ●茶道・書道・華道に関する事業

事業名	予定事業概要	予定開催日等
松花堂日曜茶席  協力 八幡市文化協会	来園者に気楽に茶道に触れていただくことを目的に開催します。	春期4月～5月(予定)、3月(12回) 秋期10月～11月(8回) 各日曜日 全20回(予定) 茶室竹隠 席料 600円(入園料別)
松花堂月釜会  共催 松花堂月釜会	松花堂昭乗の遺徳を偲び、毎月第2日曜日に開催します。	毎月第2日曜日 1・8・10月を除く 茶室松隠、美術館別館他 席料 800円(入園料別)
松花堂書道教室  協力 八幡市文化協会	昭乗ゆかりの施設で子ども達に日本の伝統文化に触れる機会を提供し、書道に対する理解と技能の向上を図ります。	通年(8月除く) 月2回 美術館別館 ギャラリー2 月謝 こども2,000円 他
子どもわくわく教室 —華道教室・茶道教室—  共催 八幡市教育委員会 八幡市文化協会	「茶道」・「華道」文化の理解を深め、技能の向上を図ります。市内小中学生対象。	2020年5月 ～2021年2月 (土曜日全10回) 定員20名 美術館別館会議室他 茶道 2,700円 華道 5,000円
松花堂七夕茶会  協力 立命館大学茶道研究部	昭乗ゆかりの茶室「松花堂」を有する庭園内の茶室において、若い世代に伝統文化である茶道への理解を深めてもらうことを目的として開催します。	2020年7月 茶室「松隠」 席料 300円
松花堂学生茶会  協力 京都八幡高等学校伝統文化部		2021年2月 茶室松隠、美術館別館他 席料 300円
第37回松花堂忌茶会  協力 松花堂月釜会	書や画と共に「茶の湯」においても優れた才能を発揮し、男山に文化サロンを形成していた昭乗の功績を讃えた茶会を開催します。	2020年10月11日(日) 茶室「松隠」、美術館別館他 席料 5,500円
松花堂初釜会  協力 八幡市文化協会	新春を寿ぎ開催します。	2021年1月 茶室「松隠」 席料 5,500円
第24回松花堂新春書初め席書大会  共催 八幡市・八幡市教育委員会 協力 八幡市文化協会	松花堂昭乗の書を讃えるとともに書道の普及を図り、子ども達の感性豊かな心を養います。市内の幼稚園から高校生対象とします。	2021年1月17日(日) 美術館別館 ギャラリー2 無料
書初め席書大会・書初め展合同作品展  共催 八幡市・八幡市教育委員会 八幡市文化協会	書初め席書大会、書初め展の合同作品展を美術館1階で開催。約800点を越える子供たちの作品を一堂に展示します。	2021年1月19日(火) ～1月31日(日) 美術館講習室 他 無料

事業名	予定事業概要	予定開催日等
花の祭典in松花堂 松花堂新春洋蘭展 協力 八幡市文化協会	<園芸文化振興事業> 新春にふさわしい蘭を色鮮やかに飾る展覧会。	2021年1月（3日間） 美術館別館 無料（入園料別）
松花堂いけ花展 協力 八幡市文化協会	華道の一層の興隆と、流派を越えた作品を楽しんで頂く目的で開催します。	2021年2月（3日間） 美術館講習室 無料
お茶室体験促進事業	気軽に茶道を体験して頂く事業。	通年 庭園茶室

### ●その他の事業

事業名	予定事業概要	予定開催日等
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 第32回松花堂つばき展 協力 山口椿園 八幡市文化協会	約300種以上に及ぶ多種多様な切り花コーナーをメインに、いけ花や盆栽、鉢植えの椿を展示します。また、庭園の周遊路や池、せせらぎに竹と椿をテーマとした装飾を施し、見頃を迎えた庭園の椿とともに楽しみいただきます。	2020年 4月3日（金）～5日（日） 庭園全体 入園料 一般400円 他
京の七夕協賛事業 松花堂七夕まつり	美術館回廊において、短冊や行灯等で七夕飾りを施し雰囲気盛り上げます。短冊を無料配布し、願いを込めた短冊を回廊に吊します。	2020年7月（2週間程度） 庭園回廊周辺 無料
文化庁委託事業「伝統文化親子体験教室」 京都府「文化を未来に伝える次世代育み事業」 松花堂親子天体観測会 協力 アマチュア天文家 大下邦弘	松花堂昭乗も眺めたであろう星空を、高性能の天体望遠鏡で観察し、いにしえに思いを馳せます。観測後は俳句を短冊にしたためます。	2020年8月（2回） 美術館回廊他 参加費 1,000円 各回10名 （簡易望遠鏡自作キット付）
松花堂納涼寄席 協力 米朝事務所	米朝一門の落語家による本格的な落語会を開催します。	2020年8月 美術館別館 キヤラー1 入場料 1,800円
松花堂香道教室 講師 御家流香道 増田堯興	日本の三大芸道の一つである香道教室を入門編として開催します。講師に御家流香道の師範を招聘し、初心者でもわかりやすい内容とします。	2020年10月～（5回） 美術館別館 参加費 6,000円
松花堂水石名品展 共催 九十九会有志	水の流れによって自然に形成された水石を、お軸やお花などで床飾りを施します。	2020年10月（約5日間） 美術館別館 無料（入園料別）
松花堂ひな祭り寄席 協力 落語サークルなぎさの会	アマチュア落語サークル渚家一門による、春一番の笑いを楽しんでいただく落語会です。	2021年3月 美術館別館 キヤラー1 入場料 800円

●美術館に関する事業

事業名	予定事業概要	予定開催日等
<p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和2年春季展 おいしい赤膚焼</p> <p>関連事業 ギャラリートーク:当館学芸員</p> <p>ギャラリートーク特別編 「赤膚焼の魅力」:赤膚焼研究家辻井由紀子 呈茶席～赤膚焼で味わう八幡のお茶～ 当館学芸顧問影山純夫(神戸大学名誉教授)</p>	<p>奈良市西部に位置する五条山は別名を赤膚山といい、この地で焼かれた陶器は赤膚焼と呼ばれ愛され、現在も諸窯が盛業しています。展覧会では、江戸時代、遠州七窯の一つに数えられた赤膚焼の魅力に迫ります。松花堂昭乗筆「大峯山蔵王堂勸進帳」「金峯山寺蔵」を特別展示。会期中、「赤膚焼で味わう八幡のお茶」(要申込)やギャラリートークを開催します。</p>	<p>2020年3月14日(土) ～5月10日(日) ※年度継続事業 観覧料 一般500円 他 3月22日、4月5日、4月19日 5月3日(日祝) 3月29日(日) 午後1時30分～ 4月26日(日) 別館 ①午前11時②午後2時 各15人 参加費1,000円</p>
<p>初夏展 江戸絵画いろいろ(仮)</p> <p>関連事業 ギャラリートーク:当館学芸員 呈茶付ギャラリートーク 当館学芸顧問影山純夫(神戸大学名誉教授)</p>	<p>江戸時代の絵画を中心に展覧します。会期中に呈茶付ギャラリートークを企画。</p>	<p>2020年6月6日(土) ～7月19日(日) 観覧料 一般400円 他 日程等調整中</p>
<p>初秋の小展示 やわたのやきもの南山焼(仮)</p> <p>関連事業 ギャラリートーク:当館学芸員 呈茶付イベント</p>	<p>南山焼の始まりは、江戸時代後期にさかのぼります。時を経て断続的に受け継がれ、昭和の頃まで八幡の人たちに親しまれた八幡の焼き物を紹介します。会期中呈茶付イベントを企画。</p>	<p>2020年9月5日(土) ～10月11日(日) 観覧料 一般200円 他 日程等調整中</p>
<p>特別展 江戸の働く女子 いそめつな(仮)</p> <p>関連事業 ギャラリートーク:当館学芸員 特別講演会:講師石川透(慶應義塾大教授)</p>	<p>室町時代後期から江戸時代前期頃まで製作されていた絵入り彩色写本は奈良絵本と呼ばれます。その奈良絵本の作家の中で「居初つな」は、日本で最初の女流絵本作家といわれます。展覧会では、色鮮やかな奈良絵本の魅力とともに、「居初つな」の作品の数々を展覧します。</p>	<p>2020年10月24日(土) ～12月6日(日) 観覧料 一般600円 他 日程等調整中</p>
<p>2021年 新春展 のんびりいこう牛の年(仮)</p> <p>関連事業 ギャラリートーク:当館学芸員</p>	<p>館蔵品を中心に、主に干支にまつわる作品の数々を展覧します。</p>	<p>2021年1月9日(土) ～2月14日(日) 観覧料 一般400円 他 日程等調整中</p>
<p>春季展 田島周吾展</p> <p>関連事業 ギャラリートーク:当館学芸員 特別講演会</p>	<p>奈良県在住の日本画家 田島周吾氏(1974～)の作品展を開催します。</p>	<p>2021年3月27日(土) ～5月9日(日)(予定) ※年度継続事業 観覧料 一般500円 他 日程等調整中</p>
<p>松花堂昭乗研究所 当館学芸員他 研究生約15名</p>	<p>松花堂昭乗に関する美術作品や史料をもとに、調査、研究を進めながら、研究成果の発表と市民への学習の機会を設けます。</p>	<p>定例講座 毎月第2土曜日 特別講演会 年2回開催 年会費 6,000円</p>
<p>館蔵品、寄託品等調査研究事業</p>	<p>当館が所蔵する館蔵品及び寄託品等を展覧会等を通して調査研究し、その成果を公表します。</p>	<p>通年</p>

## <収益事業>

事業名	予定事業概要	予定開催日等
吉兆コンサート 共催 吉兆松花堂店	吉兆松花堂店の店内で開催するコンサート。吉兆の特別料理と共に提供。	通年
昭乗広場DEフリマ	松花堂に親しみを感じていただくため、昭乗広場を活用し、フリーマーケットを開催。	通年（2回） 昭乗広場
ミュージアムショップの運営	美術館事業及び地域の特産品の普及啓発とともに来園・来館者へのサービスとしてミュージアムショップを運営。	通年